

2013年6月7日

**“ 保険業界初 ” お客さまへの保険金のお支払いに関する業務について
事業継続マネジメントシステム「ISO22301」
の認証を取得しました**

日本興亜損害保険株式会社（社長：二宮 雅也）は、お客さまへの保険金のお支払いに関する業務について、事業継続マネジメントシステム（BCMS：Business Continuity Management System）の国際規格である「ISO22301」の認証を保険業界で初めて取得しました。

保険事業は社会・経済活動の維持に必要不可欠なインフラであり、大規模地震等の災害発生時における事業継続に対する取組みは、保険会社にとって重要な経営課題であるとの認識の下、当社はBCMSの構築を進めてきました。特に保険金のお支払いに関する業務は、保険会社の使命として最優先で継続させるべき重要業務と捉え、態勢強化に積極的に取り組んできました。

このたび、この取組みが「ISO22301」の要求事項を満たすものとして、BSIグループジャパン株式会社^(注1)から以下のとおり認証されました。なお、保険業界における「ISO22301」の認証取得は、当社が初めてとなります。

【認証登録の概要】

登録組織名	： 日本興亜損害保険株式会社		
認証登録範囲	： 首都圏における自動車保険および火災保険 [*] の保険金支払いおよび損害調査関連業務		
認証規格	： ISO22301	認証登録番号	： BCMS548368
認証機関	： BSIグループジャパン株式会社	認証取得日	： 2013年5月27日

^{*} 火災保険には地震保険を含みます。

当社は、2009年にBCMSに関する英国の規格「BS25999-2」^(注2)を損害保険業界で初めて取得しました。今回取得した「ISO22301」は、さらに高いレベルの要求事項を規定するものであり、引き続きBCMSへの取組みを推進して事業継続能力の向上に努めることにより、お客さまにご提供するサービス品質を向上させ、「お客さま評価日本一/No.1」を実現していきます。

(注1) 同社は「英国規格協会（BSI：British Standards Institution）」の日本法人であり、マネジメントシステム審査登録、ISO規格を中心とした研修・トレーニングなど幅広い分野にわたりサービスを展開している。マネジメントシステムの認証サービスに関しては、日本でも有数の審査機関の一つ。

(注2) BSIが発行したBCMS規格。2012年に「ISO22301」が発行されるまで、BCMSの実質的な国際規格として扱われていた。

以上

